

御油小「校長室より」1学期学校の風景10



【4年生 社会科見学 6月10日】

4年生が私たちの暮らしや環境を支える仕組みを学ぶため、社会科見学に出かけました。今年度は、加山興業のリサイクルプラント工場、豊川市清掃工場、そして豊川浄化センターの3箇所を巡る、大変充実したコースとなりました。

リサイクルプラント工場では、私たちの周りからどのような資源が集められ、それらが一体何に生まれ変わるのかを興味深く学びました。豊川市清掃工場では、毎日出される膨大な量の可燃ごみを手際よく処理されていく様子を間近で見学し、そのスケールの大きさに子どもたちは目を丸くしていました。最後の豊川浄化センターでは、生活の中で汚れた水が、さまざまな工程を経て再び透き通ったきれいな水へと戻っていくプロセスをじっくりと見学しました。

どの見学先でも、子どもたちは学習したことをしおりに書き込み、働く人々の工夫や努力を知ることができました。この見学を通して、「すごかった」で終わるのではなく、「自分たちの日々の生活の中で、ごみを減らすためにできることは何だろう」、「水を大切に使うにはどうしたらいいかな」と、環境のためにできる身近な一歩を考えるきっかけとなりました。せっかくの機会ですので、家族みんなで環境について話し合ってみるのもいいですね。



【6年生 セブンイレブンとコラボ授業 6月11日】

6年生が総合的な学習の時間として、セブンイレブンとコラボレーションした「食育・商品開発プロジェクト」がスタートしました。昨年度は三重県の小学校で実施されたこの特別な取り組みですが、今年度はなんと愛知県内で唯一、我が御油小学校が選ばれ、大役に挑戦することとなりました。

このプロジェクトの大きなねらいは、自分たちが暮らす地域の課題を深く理解し、それを自らの手で解決しようとする主体的な態度を育むことにあります。さらに、豊川市の誇る特産物である「大葉」をいかした商品開発に携わることで、普段何気なく目にしている身近な農産物や商品の成り立ち、そこに関わる人々の想いを肌で知る機会となります。

1回目の授業には、セブンイレブン関係者の皆様をはじめ、豊川市役所の農務課の方、そして大葉の魅力を発信されている「大葉ボーイ」さんも特別に駆けつけてくださいました。専門的なお話に、子どもたちは興味津々に耳を傾け、地域の未来を見据えたアイデアを膨らませていました。

この取り組みは、このあとも7月、9月と継続して授業を行い、11月の店頭販売を目指して本格的に進んでまいります。御油小学校の6年生たちが一生懸命に考えたアイデアが実際の形となり、セブンイレブンの店頭に並ぶ日が楽しみです。発売が決定しましたら、またお知らせいたします。子どもたちの創造力と挑戦をぜひ見守ってください。



【リアクションからアクションへ あいさつを考える】

先日、西部中学校協力者会議に出席した際に、御油小の子どもたちのあいさつがだいぶできるようになっているというお話をいただきました。確かにここ数年で、「言われればあいさつする」という子が増えてきました。とても良い変化だと思います。今年は一歩踏み込んで、「リアクションからアクションへ」つまり「自分から先にあいさつできる子」が増えていくような働きかけをしていきたいと考えています。引き続き、ご家庭や地域でのご協力をお願いします。